

様式第 1 号

平成 28 年 6 月 6 日

議会と語る会実施報告書

小諸市議会報告会運営委員長 林 稔様

議会と語る会 2 班
班長 福島 鶴子



私の班は、下記のとおり議会と語る会を開催いたしましたので、ご報告します。

記

- 1 開催日時 平成 28 年 5 月 24 日 (火) 19:00～21:00
- 2 開催場所 糠地公民館
- 3 出席議員 13 名 (担当班 8 名 サポート 4 名 副議長)
- 4 参加人員 29 名 (内テーマ別 {学校改築 13 名・公共交通 16 名})
- 5 報告内容への質疑・意見・要望・応答・要旨

市政に関するもの 無
議会に関するもの 無

6 意見交換の内容 要旨

テーマ 学校改築

(1) 市政に関すること

項目	課題	解決策
学校改築	改築への視野 統合への視野 現状の配置の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期的視野で、専門家集団による審議会を組織し、少子化、学校施設の活用について検討する。 ・ 市民が意見を述べやすい方法を。 (例・たたき台の策定) ・ スクールバス運行は必須 ・ 安全面での対応の確立 ・ 校舎の長寿命化で対応 ・ 体育館の耐震基準確保と避難所機能を果たす為の整備。
施設の老朽化	学習環境としてどうか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場当たりの修繕でなく集中的計画的改修を行う
教育の質の向上	教育委員会の主体性	
こどもの減少	どうしたら子供を増やせるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外から人が集まる地域づくり。 ・ 地域の活性化（地域づくり協議会で地域の事は地域で考える）
子どもの貧困	学校改築より重要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実情把握で課題を明確にする。

議会に関すること
特になし

テーマ 公共交通

項目	課題	解決策
新システム	利用した事がない 関心がない システムがわからない 必要性を感じない	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かなで、粘り強いPR ・いずれは利用する事を周知する。 ・わかり易い方法で（DVD等） ・試乗の機会・お試し券の発行
運行上	荷物の制限の明確化 高齢者の乗降対応	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの中にアンケートを置く ・荷物のサポート対応
運賃	安い運賃にならないか タクシー補助金との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・本運行までに完全^{改良}の余地として考える。 ・タクシー補助券発行と愛のりくん運行の経費の試算で明確化
定時定路線 バス	スクールバス運行	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の現状把握で実現の可否を考える。
地域課題 西小諸地 おみこし	子どもが喜んで参加するにはどうしたら良いか	<ul style="list-style-type: none"> ・負担が少ない形にして来年への意欲につなげる

7 回答保留の質問・意見と回答 要旨

(1) 公民館の耐震化

意見・・・公民館は災害時避難所になっているが、耐震化されていない。
対応を考えて欲しい。

回答・・・意見として預かり、他の公民館の状況も考慮し、議会としての回答を出したい。